

研究成果の世界への発信

How to deliver research outcomes to the world

山形 俊男 [1]

Toshio Yamagata[1]

[1] 東大・理・地惑

[1] EPS, Graduate School of Science, Tokyo Univ.

私の専門分野は海洋物理学、地球流体力学、気候力学です。これまで30年以上にわたり、国内外の様々な研究者に出会い、啓発され、刺激されてきました。時には激しい論争もありましたが、楽しく研究にたずさわることができました。還暦を過ぎ、過去を振り返る時が多くなりましたが、科学者として生きる技(アート)を身につけることが重要ではないかと思うようになりました。これはと思う仕事を一流誌にどんどん発表して行くことが研究者に最も重要なことはいうまでもありません。さらに、世界の舞台に積極的に出てゆき、考え方や生き方に共感し、理解してくれる良き友人を持つことも大切なアートといえるでしょう。自分が本当にこれと思う仕事はなかなか世の中には受け入れてもらえないものです。多くの人が通説を信じているからです。ガリレオ・ガリレイのように批判に耐えて自説を主張する勇気が必要になります。こうした苦節にあるときにこそ、世界に培った知人が大きな力を与えてくれることになるのです。極東に住む科学者がどのようにして世界に発信してゆくかを考えてみたいと思います。